

**目指すゴール**



Nittoグループでは、SDG's実現のため「サステナビリティの重要課題(マテリアリティ)」を特定し、「イノベーションの創出」と「経営基盤の強化」の2つのアプローチにより取り組んでいます。

各課題のリスクと機会を分析し、課題ごとの『目指すもの』へ向け、1.周知活動、2.関連製品・開発テーマ、3.方向性,KPI/目標の策定 といった3つに細分化した計画を策定して取り組みをすすめています。

特に豊橋事業所では、経営品質向上のための「人材の確保・育成」、「製品の安全性・品質向上」、「CO2排出削減」や「エネルギー・原材料・水などの効率的利用」に力を入れて、全員で一丸となって取り組んでいます。

	サステナビリティ重要課題	Nittoグループが目指すもの	該当するSDGs
イノベーションによる価値共創	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート社会に向けた基礎の整理</li> <li>交通渋滞・交通事故の低減</li> <li>交通弱者に対する公共交通サービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心で利便性の高い生活</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生エネルギーの普及・省エネの推進</li> <li>プラスチック・金属・水・カーボンなどの循環促進</li> <li>大気・水質・土壌の汚染防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な循環社会</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康長寿の支援</li> <li>すべての人への医療・介護サービスの提供</li> <li>地球規模での感染症の抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健やかな暮らし</li> </ul>	
価値共創のための経営品質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材の確保・育成</li> <li>ダイバーシティ&amp;インクルージョン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人材が活躍できる風土</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の安全性・品質向上</li> <li>労働環境の改善</li> <li>サプライチェーンにおける人種の尊重</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全なモノづくり</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出削減</li> <li>エネルギー・原材料・水などの効率的利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境にやさしいプロセス</li> </ul>	

◆サステナビリティ重要課題に対するリスクと機会の分析、および各課題に対する取組み計画の細分化 (Nittoグループ統合報告書2020より抜粋)

**SDGsの取組み紹介**

**きれいな街づくり『クリーンアップ活動』**

従業員による豊橋事業所周辺や境川沿岸の清掃活動を定期的に行っています。日頃の感謝を込めて地域社会に貢献し、きれいで住みよい街づくりを目指しています。



**生産工程から出る廃棄物の徹底した再利用**

マテリアルリサイクルを実現し、持続可能な社会に貢献すべく、豊橋事業所では2003年に『再資源化センター』を設立しました。

生産工程で発生した様々な廃プラを細分化し、社内の製造工程の原材料としての再利用する水平リサイクルを促進しています。また、右の写真のように社外のプラスチック材料としても有効に活用されています。



(写真は分別材料から生まれたリサイクル製品の事例。上写真『苗用ポット』、下写真『マグカップ』)